

# OMO7大阪 by 星野リゾート

2022.07.29



# 計画概要

- ・星野リゾートが立ち上げた新ブランド「OMO」の大阪における最初の案件
- ・「寝るだけでは終わらせない、旅のテンションを上げる都市観光ホテル」というコンセプトの下、ホテル内だけでなく、ホテルの「ご近所」も観光資源と捉え、新しい都市観光の形を提案したもの

敷地面積	: 13,907.34㎡
建築面積	: 7452.53㎡
延床面積	: 37,256.18㎡
階数	: 地上14階 地下なし
建蔽率	: 53.59% (許容80%)
容積率	: 240.90% (許容400%)



# 敷地概要

- ・ 交通利便性が高くもディープなイメージから開発が遅れていた新今宮駅前



# 配置計画



# 日本建築が培ってきた知恵と技術を自然と共生するホテルに活かす



茅葺の断熱性能  
の要は空気層



屋根の空気層  
を取り高断熱性能



簾や障子は  
直達日射量低減



外装膜の外皮遮熱に  
よる日射負荷低減



深い庇の太陽熱遮断



大庇による太陽  
光遮断



打水の気化と緑の蒸散

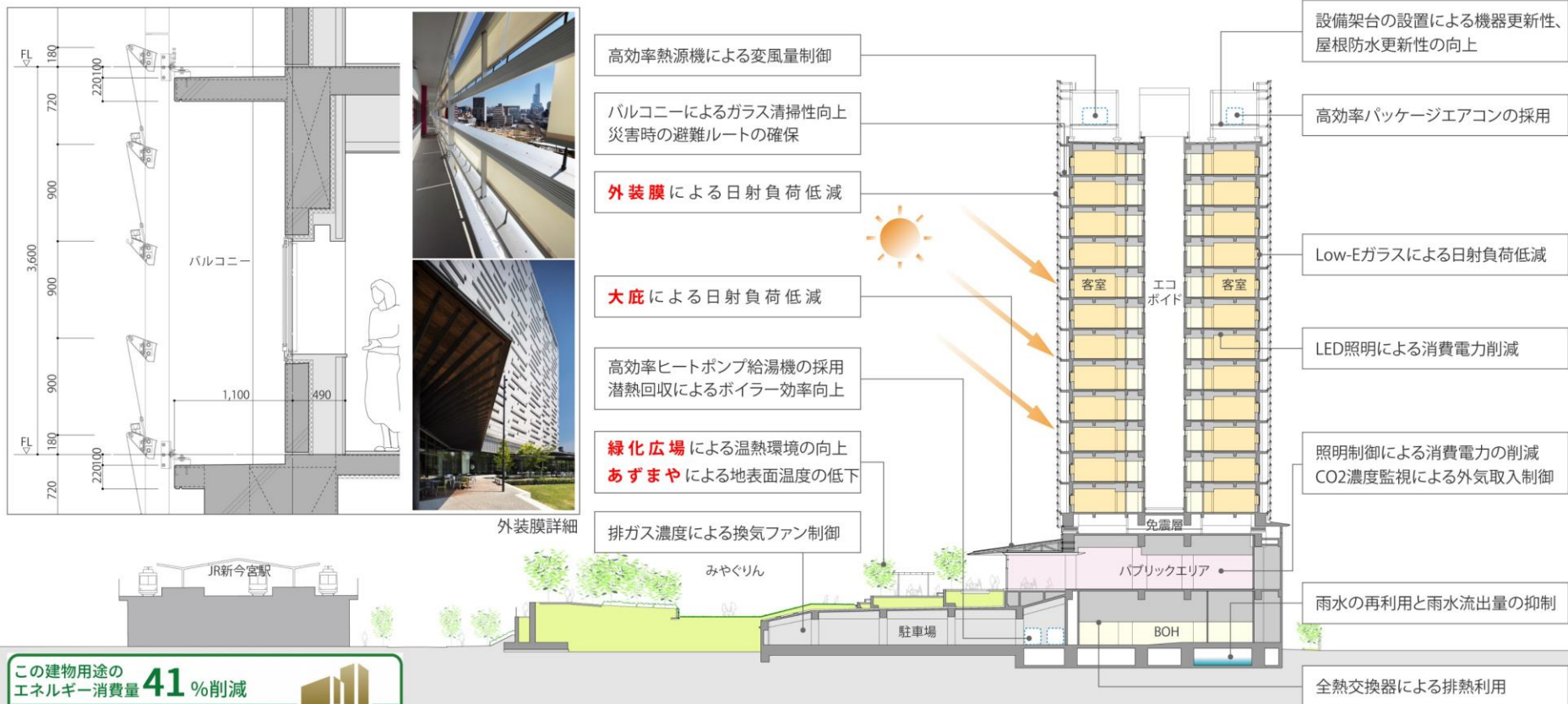


樹木による蒸散  
及び灌水の気化



# 断面構成図

伝統技術の知恵をモチーフにした**パッシブな環境制御**で太陽熱から建物を守る



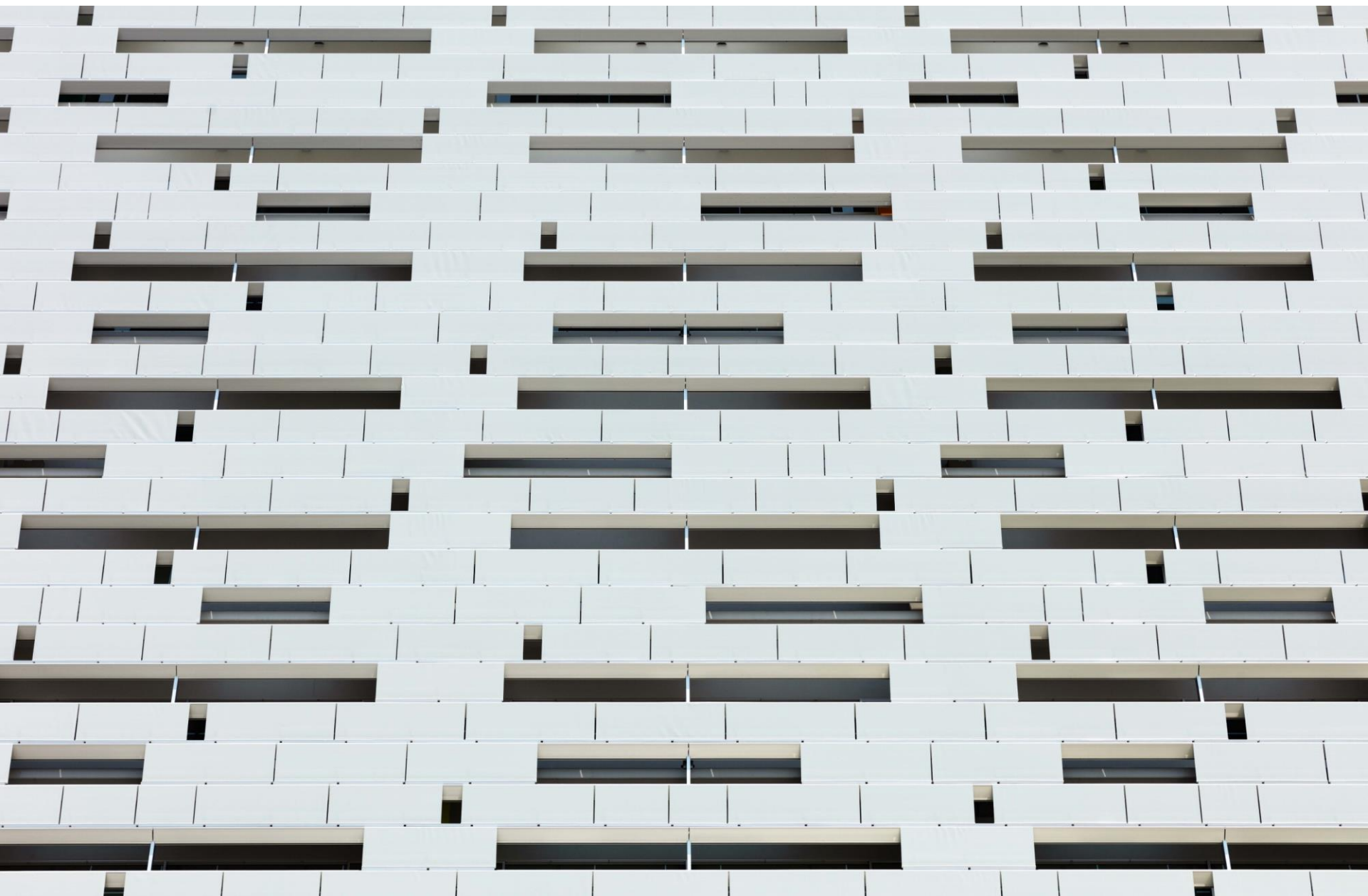
この建物用途の  
エネルギー消費量 **41%削減**

★★★★★ **ZEB**

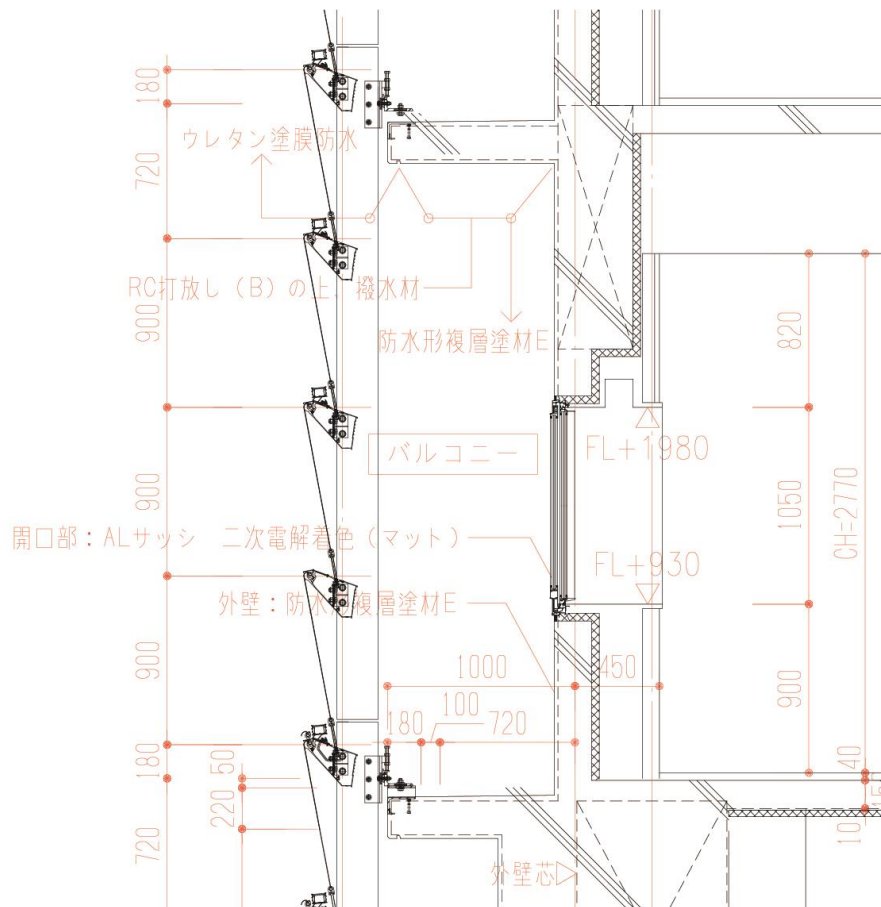
建築物省エネルギー性能表示制度  
国土交通省告示に基づく第三者認証  
2022年1月26日交付

**BELS**

# 1. 外装膜——簾効果を応用した環境制御ファサード



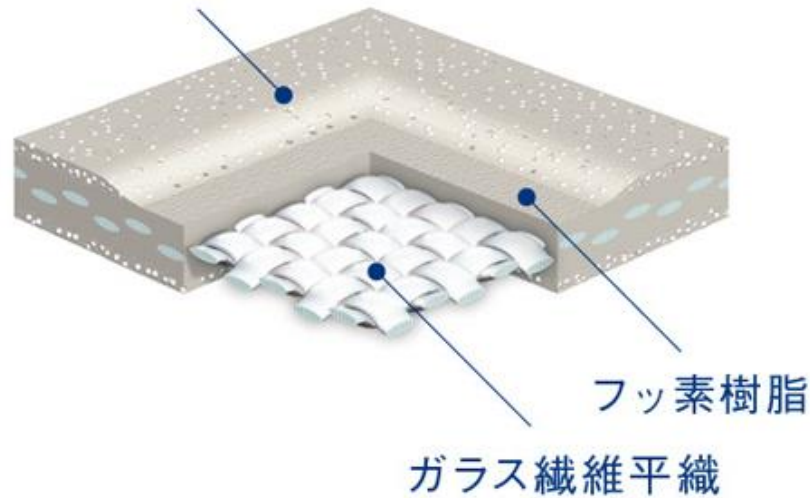
# 1. 外装膜——簾効果を応用した環境制御ファサード





# 1. 外装膜——簾効果を応用した環境制御ファサード

フッ素樹脂＋  
酸化チタン光触媒層



## 材料特性

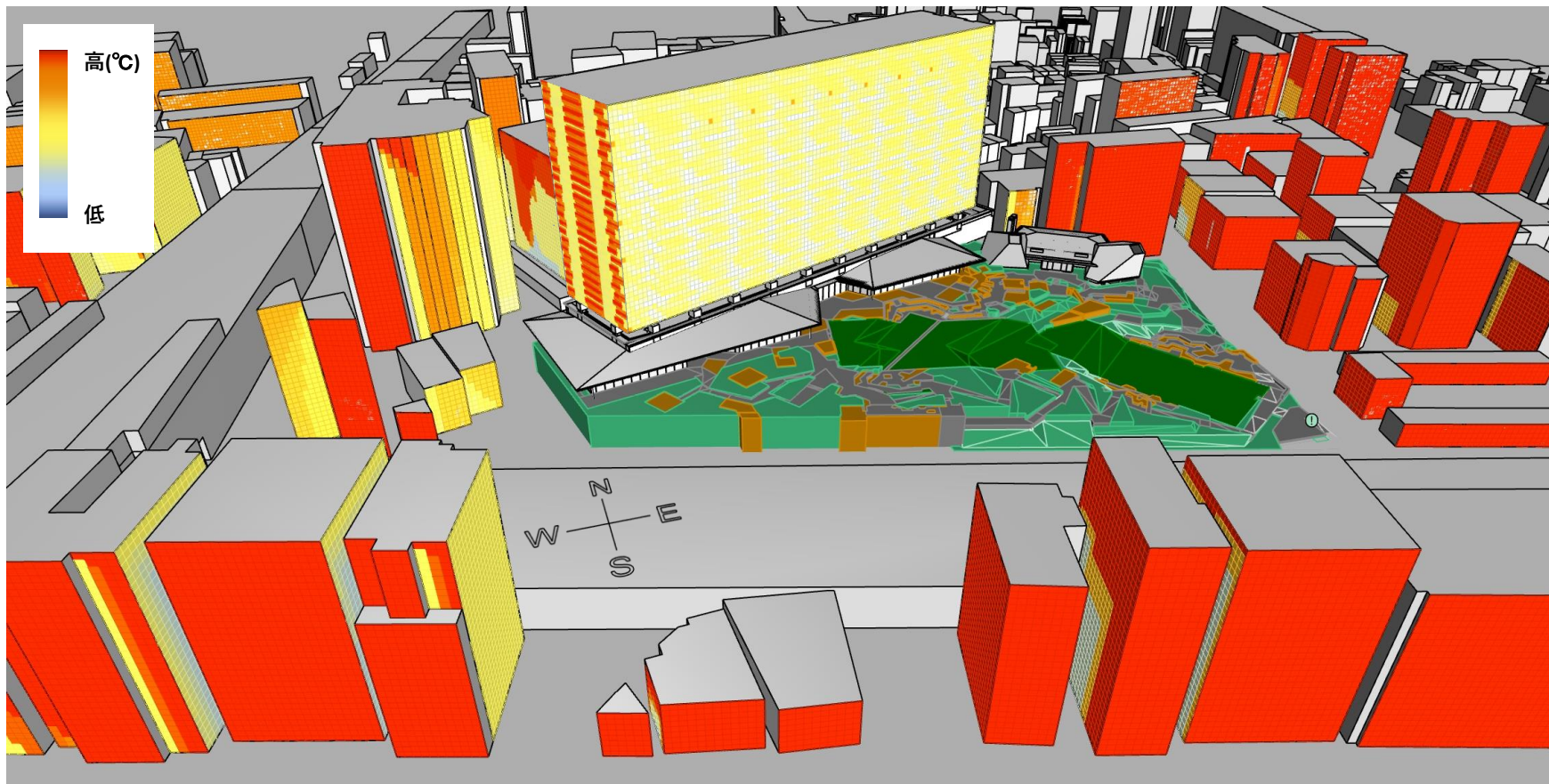
- 自浄作用（ノーマンテ）
- 光の透過性（ふんわり感）
- 伸縮性（アルミ熱伸び追従）

# 1. 外装膜——簾効果を応用した環境制御ファサード

## 03-5) 解析結果：周辺を含めた簡易的な表面温度解析

03-3) とは異なる簡易的な方法により、周辺建物も含めて表面温度を解析した。この解析には気流の影響が全く考慮されていないため、具体的な温度の数値は正確ではなく、数値で評価すべきではない。ただし、温度の高い・低いといった相対的な評価としては有効であるため、その意味で用いる。太陽方位が西側に移行し始めるため、南立面の日射量が小さくなり、表面温度が徐々に下がっていくことが分かる。

■解析日：8月 / 14:00 膜あり Ver. (周辺建物の壁面温度が最も高くなる時間)



※グレーの面（屋根面・道路面・みやぐりん部分など）は解析対象外とし、主要な壁面のみを解析対象とした。  
※外壁の窓やバルコニーなどを省略した簡易モデルであり、気流の影響が考慮されていないため、相対的な評価を表す解析結果である。

# 1. 外装膜——簾効果を応用した環境制御ファサード



## 2. みやぐりん——緑化広場の整備による都市景観の向上とヒートアイランド緩和



## 2. みやぐりん——緑化広場の整備による都市景観の向上とヒートアイランド緩和



## 2. みやぐりん——緑化広場の整備による都市景観の向上とヒートアイランド緩和



## 2. みやぐりん——緑化広場の整備による都市景観の向上とヒートアイランド緩和

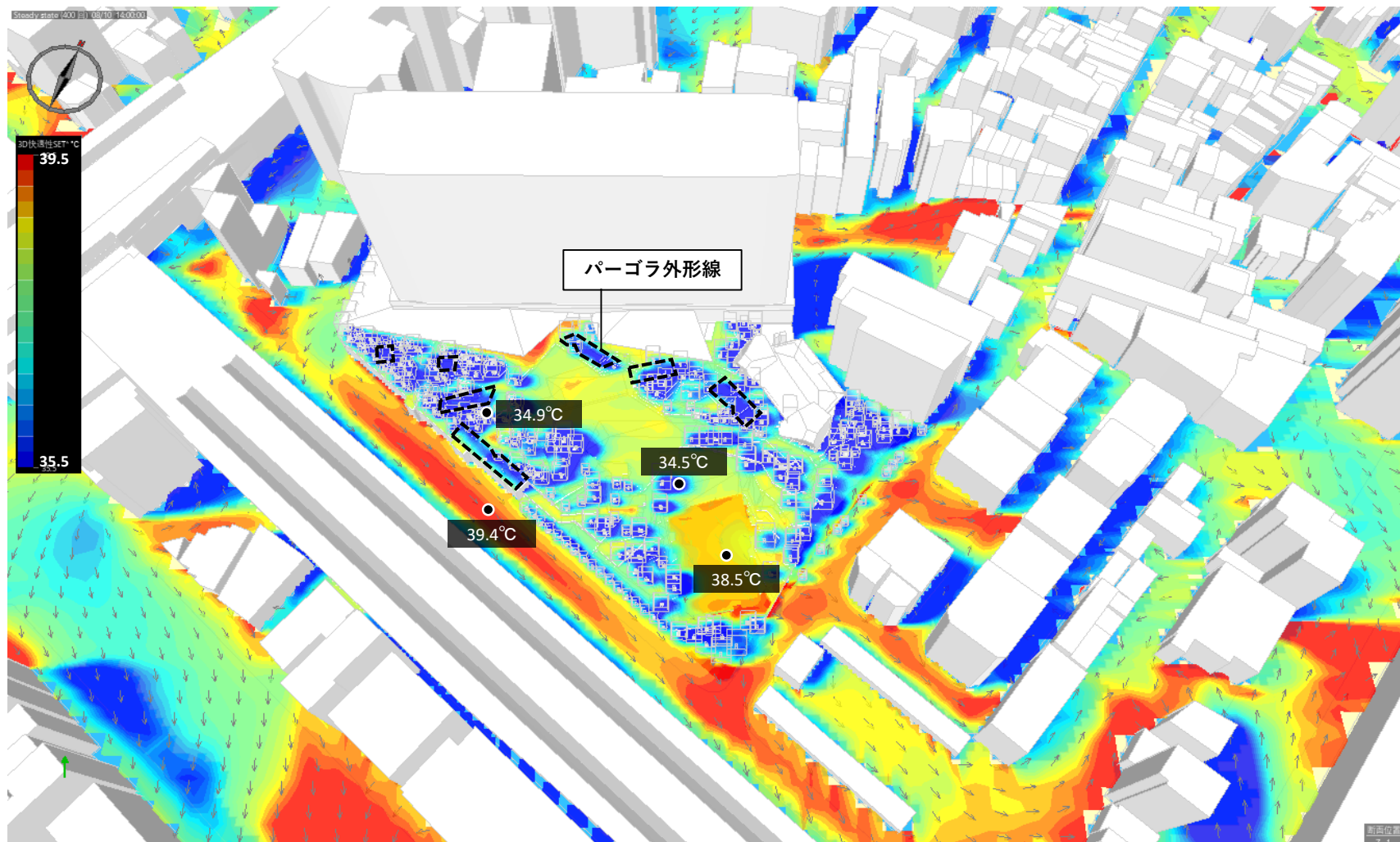


## 2. みやぐりん——緑化広場の整備による都市景観の向上とヒートアイランド緩和

### 01-4) 解析結果：地表面から1m上空部分の「体感温度」

結果は下図の通り。図中の数値は「SET\*（標準新有効温度）」を示している。これは単なる気温ではなく**放射・湿度・風速などの影響を加味した値であるため、いわゆる「体感温度」に近い値**と言える。設定された各所の表面温度の影響と、日陰をつくる樹木やパーゴラの影響を受けて、地表面から1m上空部分の「体感温度」が変化している様子が分かる。

再現日時：8月の14：00  
外気温：31.6°C





## 2. みやぐりん——緑化広場の整備による都市景観の向上とヒートアイランド緩和

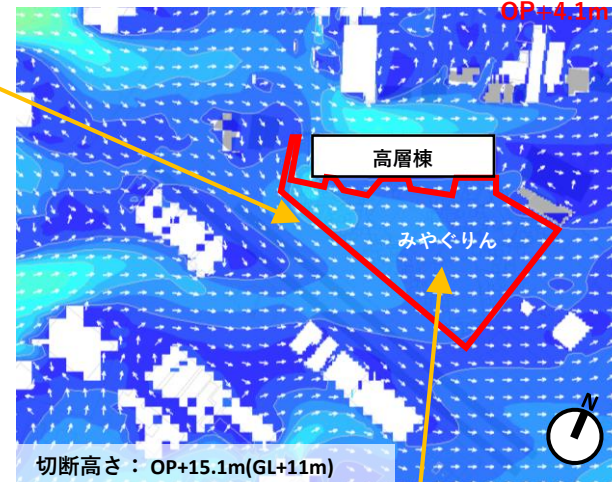
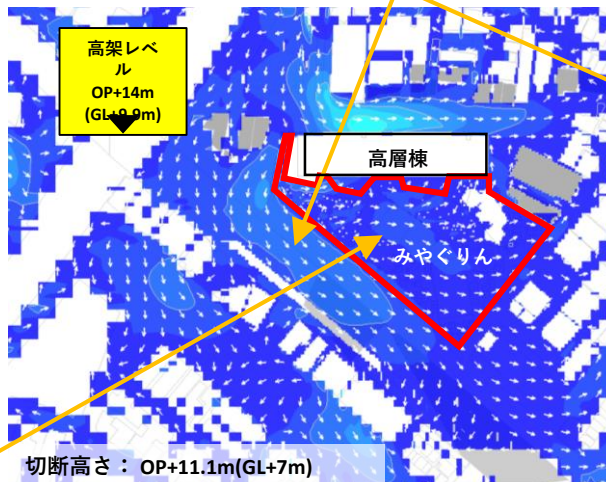
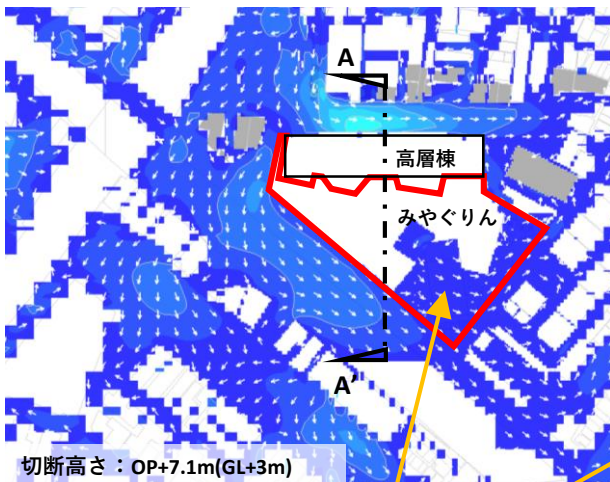
### 01-6) 解析結果：みやぐりん部分の風向・風速の状況

参考として、風向・風速の解析結果を下図に示す。考察①～③に記載した通り、卓越風である西風は敷地西側の高架に遮られるため、みやぐりん部分の風速は穏やかである。また、高層棟は西風を受け流す配置であるため、壁面に当たって地上に吹きおろす「吹きおろしの風」も発生していない。

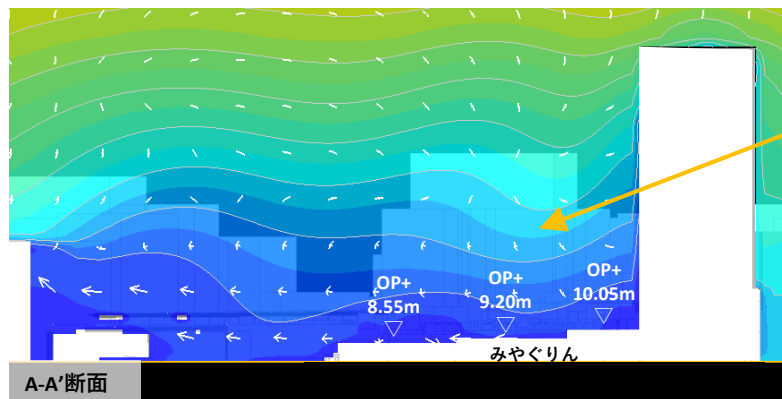
#### 風解析結果

考察②：高層棟妻壁の剥離流により風速が大きくなる部分は敷地南側に流れるため、みやぐりん部分の風速は比較的穏やかになる

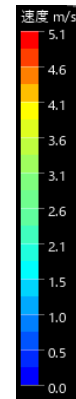
□：みやぐりん範囲 GL= OP+4.1m



考察①：高架より低いレベルでは高架が海風を遮るため、みやぐりんの表面は無風に近い状態となる



考察③：高層棟の配置は海風を受け流す方向になっており、吹きおろしの風を発生させていない



### 3. あずまや——膜屋根による直達日射の軽減

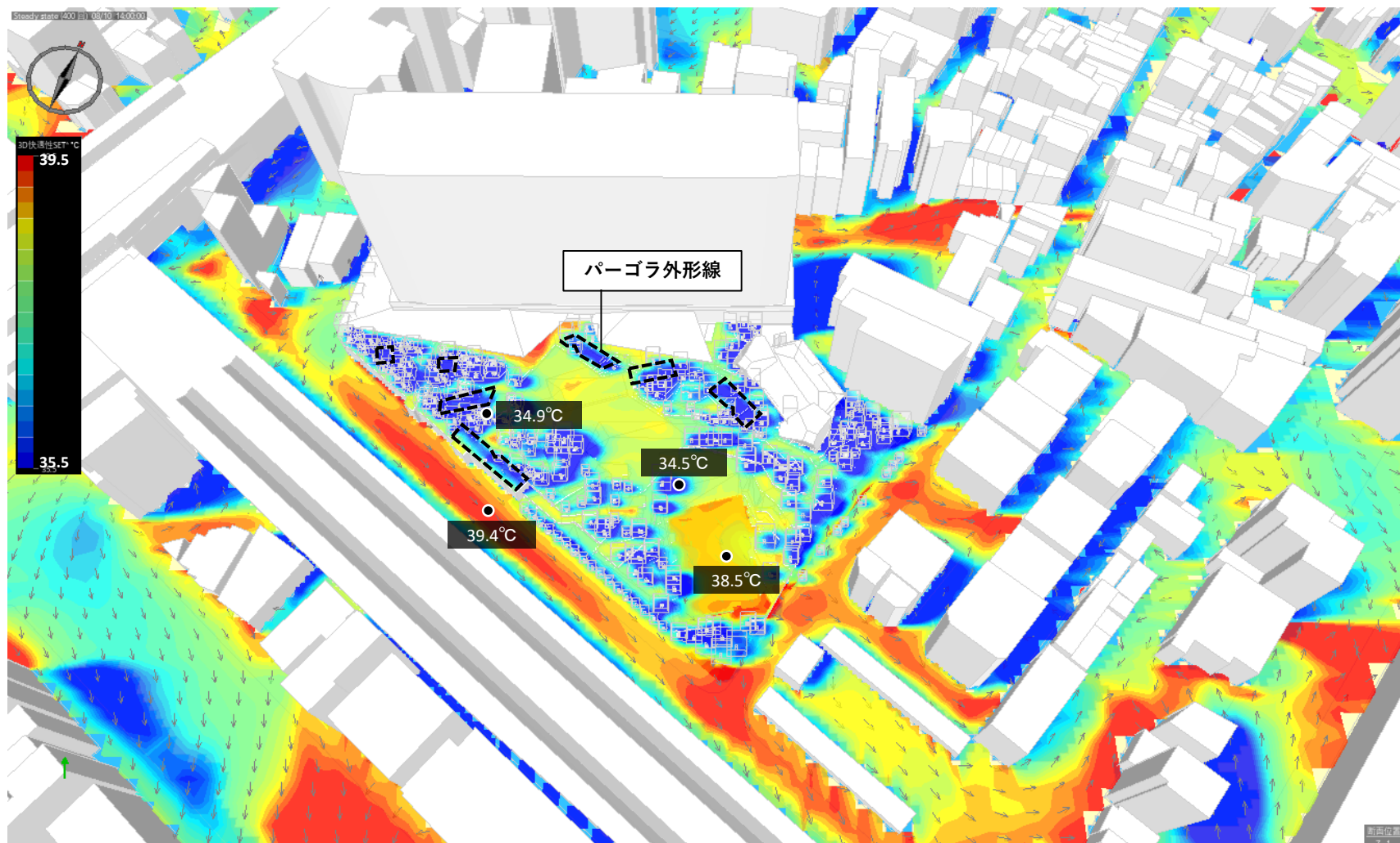


### 3. あずまや——膜屋根による直達日射の軽減

#### 01-4) 解析結果：地表面から1m上空部分の「体感温度」

結果は下図の通り。図中の数値は「SET\*（標準新有効温度）」を示している。これは単なる気温ではなく**放射・湿度・風速などの影響を加味した値であるため、いわゆる「体感温度」に近い値**と言える。設定された各所の表面温度の影響と、日陰をつくる樹木やパーゴラの影響を受けて、地表面から1m上空部分の「体感温度」が変化している様子が分かる。

再現日時：8月の14：00  
外気温：31.6°C



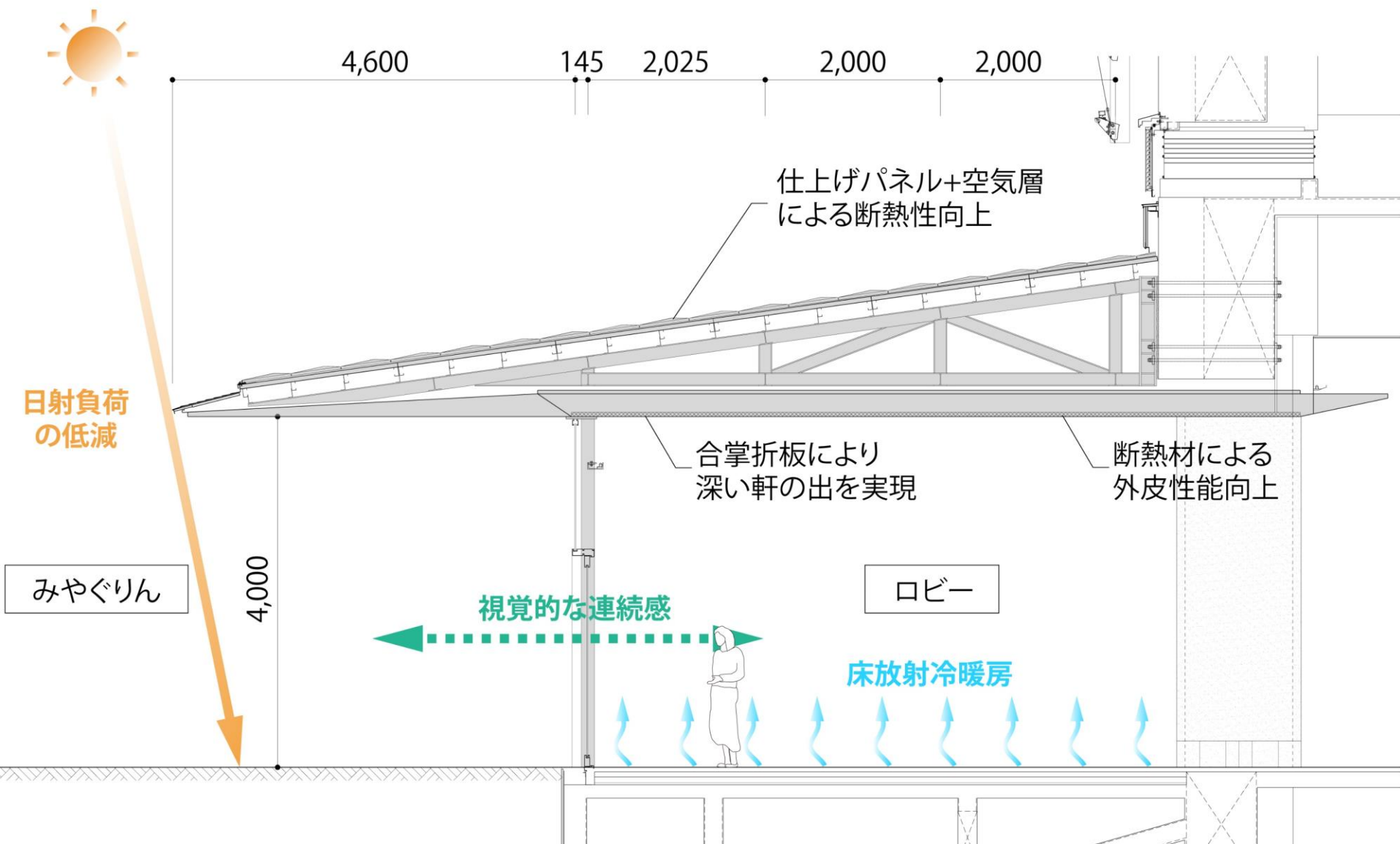
#### 4. 大庇——折り紙構造をモチーフとした「合掌折板」により、内外を連続しつつ日射遮蔽を実現



#### 4. 大庇——折り紙構造をモチーフとした「合掌折板」により、内外を連続しつつ日射遮蔽を実現



#### 4. 大庇——折り紙構造をモチーフとした「合掌折板」により、内外を連続しつつ日射遮蔽を実現



## BELSでZEB orientedを取得



# OMO7大阪 by 星野リゾート

日本建築が培ってきた知恵と技術を活かし、自然と共生するホテル



FIN